

イノベーション創出強化研究推進事業 研究成果伝達会
「抹茶・粉末茶に適した新品種の育成および栽培・加工技術の開発」
(事業名:実需者の求める、色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発)
開催要領

1. 趣旨

主要品種「やぶきた」は長年にわたり日本茶業を支えてきたが、病虫害抵抗性に劣る点や、「やぶきた」寡占による香味の画一化等、近年の実需者ニーズの多様化に対応することが困難となっている。イノベーション創出強化研究推進事業「実需者の求める、色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発」では、近年需要が高まっている抹茶・粉まつ茶適性の高い品種及び系統の育成、香りや機能性成分に特徴を有する品種候補系統を育成すると同時に、それらの栽培・加工技術の開発に取り組んできた。本成果伝達会では、これらの研究成果をとりまとめて発表し、新品種とその栽培・加工技術の普及を図る。

2. 開催日時

平成30年11月19日(月曜日)9:40~15:30

3. 開催場所 島田市地域交流センター歩歩路(ぼぼろ)多目的ホール

〒427-0022 静岡県島田市本通三丁目6番の1

4. 主催 農食事業26099コンソーシアム

5. 日程

9:40 挨拶 農研機構果樹茶業研究部門 茶業研究監
農食事業26099コンソーシアム 研究総括者

9:50~10:40 色・香味及び機能性成分に優れた品種の育成

- 1) 農研機構果樹茶業研究部門
- 2) 宮崎県総合農業試験場

10:40~11:50 新品種の栽培特性に関する成果

- 1) セル苗育苗および「せいめい」の幼木期の生育特性について
日本製紙株式会社、埼玉県茶業試験場、長崎県農林技術開発センター、大分県農林水産研究指導センター、
- 2) 短期被覆栽培における「せいめい」の栽培・加工特性
静岡県農林技術研究所、埼玉県茶業試験場、長崎県農林技術開発センター
- 3) 長期被覆栽培における「せいめい」の特徴
滋賀県農業技術振興センター、福岡県農林業総合試験場、

11:50～13:00 休憩

13:00～14:30 新品種の抹茶および粉末茶の加工法の成果

- 1) 炒蒸してん茶の加工特性
鹿児島県農業開発総合センター
- 2) 「せいめい」のてん茶適性
京都府農林水産技術センター
- 3) 釜炒りてん茶の加工特性
佐賀県茶業試験場、
- 4) 粉末仕向緑茶の加工特性と評価法
三重県農業研究所
- 5) ドラムドライ製法による粉まつ茶原料加工特性
奈良県農業研究開発センター

14:30 粉末茶評価法および新たな審査用語の提案
農研機構果樹茶業研究部門

14:50 総合討論

15:30 終了

6. 参集範囲

生産者、関連企業、国立研究開発法人及び公設試験研究機関、学術団体、国及び地方自治体行政・普及担当者、当該技術にご興味のある方

7. 参加申し込み

平成30年10月31日（水）までに、件名を「参加申し込み」とし、本文に①参加者名、②ふりがな、③所属、④連絡用メールアドレスか電話番号を記載して事務局あてメールでお申し込みください。参加費は無料です。

8. 定員 150名（先着順）

9. 事務局：農研機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域 吉田 克志

TEL：0993-76-2126、FAX：0993-76-2264、E-mail: 26099seika@ml.affrc.go.jp